


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成26年11月15日

山北町議会議長 池谷荘次郎 殿

受付番号	第1号	質問議員	9番	府川輝夫 
件名	中川温泉をサイクリストの聖地に			
要 旨				
<p>平成25年度に県から購入したハイツ&amp;ヴィラなかがわ跡地の活用については、東日本大震災を境として観光入込客が急激に減少しているなか、「観光立町やまきた」の復権と三保地域の新たな観光拠点として観光客のニーズや採算性など多様な視点に立ち、地元等との調整を図りながら早期の事業着手をめざし調査研究を進めていると認識しています。</p> <p>このような状況のなか、町では11月6日に「あしがら荘」より平成27年3月末に閉館する報告を受けました。</p> <p>あしがら荘は、ハイツ&amp;ヴィラなかがわ跡地に隣接し、昭和56年の開館後33年の実績を持ち、この地域最大の収容人員120名の温泉旅館であります。閉館に至った要因も、東日本大震災による集客の半減と聞いており、中川温泉はもとより山北町にとっても大きな打撃です。</p> <p>そこで、「観光立町やまきた」の復権をかける三保地域の新たな観光拠点としてのハイツ&amp;ヴィラなかがわ跡地活用、及びあしがら荘の閉館に対する町の姿勢について質問します。</p>				
1. ハイツ&ヴィラなかがわ跡地をサイクリストの聖地に				
東京から60分で行ける(スマートインター開通後)サイクリストの聖地(仮称)「なかがわサイクルパーク」による三保地域の新たな観光拠点づくりとして次の施設を提案します。				
(1) サイクリストのステーションづくり(ランナーも利用、丹沢湖周遊コースの拠点)				
(2) キッズ、サイクル、遊具をテーマとした公園づくり				
(3) キッズ MTB(マウンテンバイク)のコースづくり				
2. あしがら荘の閉館に対する町の姿勢は				
あしがら荘の経営母体は、閉館後に温泉旅館として運営継続する売却先を探すための調査研究に入っています。				
町として、経営母体に対し中川温泉の状況とあしがら荘の必要性や役割りを訴え、売却を中心とした他の経営手法も含め、経営を継続するために要望と協力姿勢を強く示すべきではないか。				
3. 三保地域の新たな観光拠点づくりの見直しは				
現在進めている計画の実施時期等は、あしがら荘の継続が不調になった場合は見直しとなるのか。また、あしがら荘跡地を含めた計画とするのか。				
以上				